

草双紙研究資料叢書

全八巻

クレス出版



中村 正明 編・解説

江戸時代の版本並びに写本類も収録。

刊行にあたつて

國學院大學講師

中村正明

草双紙研究資料叢書 全八巻

第一卷 草双紙研究一

「草双紙のいろ／＼」(石田元季著、昭和3年)

「古版小説挿画史」抄(水谷不倒著、昭和10年)

草双紙は、江戸時代中期以降、江戸の地で板行された地本の一つで、ほぼ毎丁に挿絵の入った絵入り読み物の総称である。明治になるまで長い期間板行され続けた草双紙は、赤本から、青本・黒本、黄表紙、合巻へと、形態も内容も変容させながら順次展開していった。そして、明治十年代末、近代活字メディアの発展とともに伴う新聞・雑誌類の隆盛の影で、旧時代から続いて板行されてきた〈江戸式合巻〉は姿を消していった。

その後、盛んになつていく古典文学活字化の風潮の中で、末期草双紙である長編合巻の幾つかは翻刻紹介がされている。また、江戸の遊興文化に憧憬を表す人々のために「通」の啓蒙書として黄表紙が紹介されたりもしていた。しかし、それらはあくまで懐古・好事の対象の域を出ぬものであり、多分に〈江戸趣味〉を持った人たちの趣味の書でしかなかった。

草双紙は長い間文学として認識されず、研究すべき対象とは考えられてはこなかつたわけである。

草双紙が研究対象となり始めたのは大正末期から昭和初期にかけての頃である。日本名著全集『黄表紙廿五種』(大正十五年)において山口剛による詳細な解説が書かれ、昭和二年の「早稲田文学」で〈草双紙の研究〉という特集が成されて以降、急速に研究が広まつていったように思われる。

『草双紙研究資料叢書』では、ほとんどがそうした草双紙研究が始まる極初期の昭和初年代から、文献学的なアプローチが本格化する昭和三十年代初期までに執筆された論文・解説・翻刻類、刊行された単行本を集めている。特に雑誌論文は昭和前期に執筆されたものをほぼ網羅的に並べる形となつた。草双紙研究の初期を観ができるようにしたわけである。

また、江戸時代の版本並びに写本類も二分冊にして収めている。

第七巻には、近代以降の年表類の基礎にもなつた書目集『黄表紙大帳』『合巻虎之巻』を収める。

また第八巻では、『御存商売物』をはじめ比較的著名な草双紙九作品を選び収めている。これらはいずれも作中で草双紙そのものを対象化しているものである。また、天明初期に芝居評判記を模して板行された黄表紙評判記三種、及び幕臣蜂屋椎園による書目集『稗史鈔』を収める。『稗史鈔』は、一部に彼の作品解説が記されていて注目される。

第二卷 草双紙研究二

「草双紙と読本の研究」抄(水谷不倒著、昭和9年)

「古版小説挿画史」抄(水谷不倒著、昭和10年)

黄表紙附落語 読本と合巻(馬琴と種彦)(近世国文学史)佐々政一著、明治44年

江戸文化の発達と洒落本及び黄表紙、遊湯文学と歌舞伎趣味の江戸市民(日本近世文学十二講)高須芳次郎著、大正12年

草双紙、中本の二様式、合巻物と種彦(江戸文学史)永井一孝著、昭和4年

黄表紙、柳亭種彦(近世文芸志)笛川種郎著、昭和6年

赤本から合巻へ、「祝迦八相僊文庫」に就いて(放送江戸文学講話)尾崎久弥著、昭和10年

黄表紙概説、黄表紙解題(洒落本草双紙集)笛川種郎著、昭和11年

草双紙(日本文学史近世)小池藤五郎著、昭和31年

草双紙(江戸小説概論)麻生磯次著、昭和31年

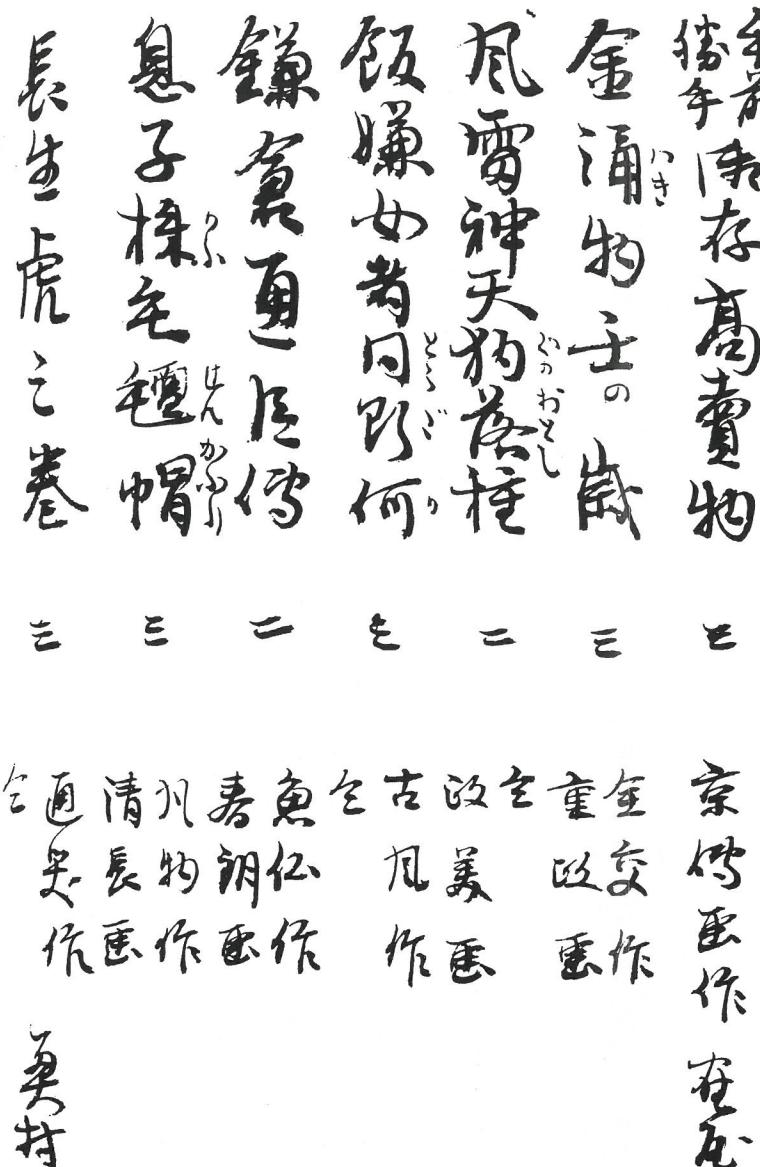
黄表紙、柳亭種彦(近世文芸志)笛川種郎著、昭和6年

赤本から合巻へ、「祝迦八相僊文庫」に就いて(放送江戸文学講話)尾崎久弥著、昭和10年

黄表紙廿五種(江戸文学辞典)草双紙(暉嶽康隆著、昭和15年)

黄表紙廿五種(江戸文学辞典)解題(黄表紙について)(山口剛著、大正15年)

黄表紙十種(江戸文学辞典)解題(武笠三著、昭和2年)



第六卷 翻刻・注釈集

「天通世界」(壱) 参(幸堂得知標註、明治24年)

「まつひむだ枕春の目覚」(高力種信校訂、昭和3年)

豆男の黄表紙、黄表紙解題、稿本(きつひむだ枕春の目覚、風流瀬川咄、大

追善記、金々先生栄華夢(林若樹ほか、昭和元年)

新しき近世文学 黄表紙と対象の世界(小柴直一、昭和2年)

黄表紙合巻雑話(滝田利男、昭和6年)

赤本・黒本・青本・黄表紙中の曾我物(小池藤五郎、昭和8年)

山東京伝と黄表紙(小池藤五郎、昭和13年)

黄表紙雑記(山崎範、昭和16年)

草双紙輪講を読んで(山崎範、昭和16年)

黄表紙と対象の世界(小柴直一、昭和2年)

黄表紙合巻雑話(滝田利男、昭和6年)

赤本・黒本・青本・黄表紙中の曾我物(小池藤五郎、昭和8年)

山東京伝と黄表紙(小池藤五郎、昭和13年)

黄表紙雑記(山崎範、昭和16年)

草双紙から拾つた資料(山崎範、昭和21年)

後期草双紙の庶民教化(水野稔、昭和12年)

過渡期草双紙その他について(柳田泉、昭和13年)

黄表紙評証(馬場正男、昭和13年)

豆男の黄表紙、黄表紙解題、稿本(きつひむだ枕春の目覚、風流瀬川咄、大

追善記、金々先生栄華夢(林若樹ほか、昭和元年)

新しき近世文学 黄表紙と対象の世界(小柴直一、昭和2年)

黄表紙合巻雑話(滝田利男、昭和6年)

赤本・黒本・青本・黄表紙中の曾我物(小池藤五郎、昭和8年)

山東京伝と黄表紙(小池藤五郎、昭和13年)

黄表紙より見たる曲亭馬琴、黄表紙(節季夜行)について、黄表紙

表紙より合巻への展開、四世團十郎の死と黄表紙に於ける其の黄

追善記、金々先生栄華夢(林若樹ほか、昭和元年)

新しき近世文学 黄表紙と対象の世界(小柴直一、昭和2年)

黄表紙合巻雑話(滝田利男、昭和6年)

赤本・黒本・青本・黄表紙中の曾我物(小池藤五郎、昭和8年)

山東京伝と黄表紙(小池藤五郎、昭和13年)

黄表紙雑記(山崎範、昭和16年)

草双紙から拾つた資料(山崎範、昭和21年)

後期草双紙の庶民教化(水野稔、昭和12年)

過渡期草双紙その他について(柳田泉、昭和13年)

黄表紙評証(馬場正男、昭和13年)

豆男の黄表紙、黄表紙解題、稿本(きつひむだ枕春の目覚、風流瀬川咄、大

追善記、金々先生栄華夢(林若樹ほか、昭和元年)

新しき近世文学 黄表紙と対象の世界(小柴直一、昭和2年)

黄表紙合巻雑話(滝田利男、昭和6年)

赤本・黒本・青本・黄表紙中の曾我物(小池藤五郎、昭和8年)

山東京伝と黄表紙(小池藤五郎、昭和13年)

黄表紙より見たる曲亭馬琴、黄表紙(節季夜行)について、黄表紙

表紙より合巻への展開、四世團十郎の死と黄表紙に於ける其の黄

追善記、金々先生栄華夢(林若樹ほか、昭和元年)

新しき近世文学 黄表紙と対象の世界(小柴直一、昭和2年)

黄表紙合巻雑話(滝田利男、昭和6年)

赤本・黒本・青本・黄表紙中の曾我物(小池藤五郎、昭和8年)

山東京伝と黄表紙(小池藤五郎、昭和13年)

黄表紙雑記(山崎範、昭和16年)

草双紙から拾つた資料(山崎範、昭和21年)

後期草双紙の庶民教化(水野稔、昭和12年)

過渡期草双紙その他について(柳田泉、昭和13年)

黄表紙評証(馬場正男、昭和13年)

豆男の黄表紙、黄表紙解題、稿本(きつひむだ枕春の目覚、風流瀬川咄、大

追善記、金々先生栄華夢(林若樹ほか、昭和元年)

新しき近世文学 黄表紙と対象の世界(小柴直一、昭和2年)

黄表紙合巻雑話(滝田利男、昭和6年)

赤本・黒本・青本・黄表紙中の曾我物(小池藤五郎、昭和8年)

山東京伝と黄表紙(小池藤五郎、昭和13年)

黄表紙より見たる曲亭馬琴、黄表紙(節季夜行)について、黄表紙

表紙より合巻への展開、四世團十郎の死と黄表紙に於ける其の黄

追善記、金々先生栄華夢(林若樹ほか、昭和元年)

新しき近世文学 黄表紙と対象の世界(小柴直一、昭和2年)

黄表紙合巻雑話(滝田利男、昭和6年)

赤本・黒本・青本・黄表紙中の曾我物(小池藤五郎

草双紙研究資料叢書 全八巻

中村正明 編・解説

- 第一巻 草双紙研究 一
- 第二巻 草双紙研究 二
- 第三巻 文学史抄
- 第四巻 解説・解題類
- 第五巻 雑誌論文集
- 第六巻 翻刻・注釈集
- 第七巻 書 目
- 第八巻 草双紙・草双紙評判記

A5判／上製函入／クロス装／本文クリーム中性紙 平成18年6月末日刊行

揃定価95,000円(税別) ISBN4-87733-325-8(セット)

御伽草子研究叢書 全9巻

藤井 隆 編・解説

- 第1巻 古注釈と文学史書集
- 第2巻 研究書集成 I 室町時代小説論
- 第3巻 研究書集成 II 島津久基集
- 第4巻 研究書集成 III 島津久基・後藤丹治集
- 第5巻 研究書集成 IV 講座、雑誌特輯集
- 第6巻 解題書集成 I 近古小説解題
- 第7巻 解題書集成 II 未刊中世小説解題
- 第8巻 解題書集成 III 室町時代物語集第一～第四
- 第9巻 解題書集成 IV 室町時代物語集第五ほか

揃定価80,000円(税別) ISBN4-87733-197-2(セット)

仮名草子研究叢書 全8巻

深沢秋男・菊池真一 編・解説

- 第1巻 雜誌論文集成 (一)
- 第2巻 雜誌論文集成 (二)
- 第3巻 単行本記述集成 (一)
- 第4巻 単行本記述集成 (二)
- 第5巻 単行本記述集成 (三)
- 第6巻 単行本記述集成 (四)
- 第7巻 単行本記述集成 (五)
- 第8巻 単行本記述集成 (六)

揃定価85,000円(税別) ISBN4-87733-315-0(セット)